



清流祭を終え、次の生徒会に向けて

9月27日(金)5時間目の清流の時間、生徒会役員など3年生の代表生徒数名が2学年集会で、三役や、役員、学年代表などを経験して良かったことや、楽しかったこと。逆に、辛かったことや難しかったことなどを話してくれました。話を聞いていた2年生は皆が真剣な表情で3年生の話聞いていました。生徒会の役員をやる上で一番大切なことは清流祭を成功させることではありません。新しい生徒会が少しずつ動き出しています。2年生はもちろん全校の皆さんには頑張ってもらいたいと思います。

生徒会長の話

生徒会長をやってきてやりがいを感じた事は主に2つあります。

1つめは役員や先生との関わりです。私は転校してきたので、1年周りの人と関わってきた時間が短かったです。なので生徒会長になったことで役員の人とはたくさん話す機会があったのでとてもうれしかったです。また、若林先生を中心とした生徒会に関わる先生方とも話す機会が多くなりました。例えば教頭先生は朝生徒会室の鍵を取りに行くときに挨拶をしたら今まで以上に声をかけてもらうことが多くなりました。このように人と関わることは楽しい反面、大変なこともあります。学校内で話せる人が増えてとてもうれしかったです。

2つめは全校生徒の笑顔が見られたときです。先日の清流祭もそうでしたが、日頃の企画なども準備にはたくさんの行程を踏まなければいけません。「どうすれば全校が楽しんでくれるだろう?」とか「もっとこうすれば良いんじゃないかな?」とか必死で考えてなんとか成功したときに全校が「楽しかった」と言ってくれるのでとてもやりがいを感じました。特に清流祭では全校の笑顔がたくさん見られたのでうれしかったです。

生徒会で役員をやっていく上で必要だと感じた力についてですが、私は計画的に物事を考えて不安に思わず実行する力が必要だと思います。私は計画的に物事を進めるのが苦手でとても苦労しました。なのでこの力は必要だと思います。ただ、人によって得意なことや不得意なことは違うので自分を見つめ直して、今の自分に足りない力が何なのか考えることが大切だと思います。

下級生に期待することは、自由に生徒会を運営して欲しいということです。

私自身生徒会長になった直後は「あんなことをしよう」「こんなことをしてやる」と色々な期待を胸に楽しみにしていました。しかし、自分のやりたいような生徒会活動をするためにはそれ以外の細かい部分もしっかりやっていかなければいけません。私にはコツコツと活動を頑張るって自分のやりたいことを実現させられるほどの力はありませんでした。なので2年生には全員で協力して1つ1つのことを丁寧に進めて自分たちのやりたい生徒会を築いて欲しいです。難しいことだと思いますが、全員で力を合わせて頑張ってください。



薬物乱用防止教育がありました

10月3日(木)の6時間目、長野県健康福祉部薬事管理課から渡利 幸治さんに来ていただいて、薬物乱用防止教育を実施していただきました。

渡利さんは、薬剤師であり、違法薬物の取り締まりにも関わっている方です。渡利さんのお話しは次の様な内容でした。

一番伝えたいことは、覚醒剤や大麻、危険ドラッグには絶対に手を出さないこと。そして、薬物乱用とは身近に起こる可能性があるということ。代表する違法薬物は大麻であり、他の違法薬物に比べて、若年層の使用が多いという特徴がある。よく大麻には「依存性が無い」といわれることもあるが、それは誤った情報である。覚醒剤や、危険ドラッグも使われているが、危険ドラッグの特徴は見た目ではドラッグとわかりにくいという点である。

また、医薬品には薬効と副作用があるが、オーバードーズ(過量服薬)という問題がある。医薬品でも、決められた量を飲まないときに命を落としてしまうことがある。

また、薬物乱用は脳にダメージを与える。そして、1回でも使うと「乱用」ということになる。1回でも使うと止められなくなる。これが一番怖いところ。そもそも乱用は犯罪である。自分には関係無いと思わずに、自分の身の周りにも薬物乱用者はいるかもしれない。薬物乱用から逃げるには、その場ですぐに逃げる。誘われたら、はぐらかしたりするのでなくその場ですぐに逃げる。そこがポイントになる。もし、心配な事があったら、近くの信頼できる大人に相談しよう。見ない、聞かない、さわらない。誘われてもし断ることができたら、それが自分自身の自信になる。以上で私の話を終わります。



毎週火曜日は5時間日課

毎週火曜日は5時間授業です。これから冬期間は日没が早くなり下校時間も早くなるため、部活動の時間を少しでも確保するために火曜日を5時間日課にしています。また、学習をしたい人は、この時間に学習をすることができます。5つの教室に5教科の教科担当がそれぞれ常駐しており、わからないことがあればその場で質問をすることができます。左の写真は、社会を学ぶ生徒と社会

科の教科担当です。自分から進んでやる学習。とても力がつきますよ。

オーストラリアから中高生がやってきた

オーストラリアのナマジジスクールという学校の生徒39名が小海中にやってきました。日本の色々な所を回っているようで、10月9日(水)には小海中を訪問してくれました。

小海中からは3年生が交流をしました。最初はお互いに緊張気味だった様子でしたが、ゲームなどをしていくうちに、すっかり仲良くなっていきました。きっと日本のよい思い出になったことでしょう。3年生の皆さんも明るく元気に交流することができました。



人権教育月間 校長講話

10月10日(木)1校時 人権教育月間のスタートにあたり、校長講話がありました。

まず、1学期を振り返り、わずかな情報から決めつけてしまうことの危険性について学んだことを確認しました。

続いて、アイスブレイクとして全校生徒が「無言で」「誕生日順に」「1列に並ぶ」ことに取組み、続いて全学年が入っている4人1組のグループを作ってみました。生徒は悪戦苦闘していたようですが、グルーピングも終わり自己紹介などをしてからいよいよ人権学習が始まりました。誰もが幸せに生活する権利を持っている。すべての生徒に幸せになって欲しいという願いを込めて、学校長から全校生徒に「幸せとはなんだろう」という問いかけがありました。そして「幸せになるために何を重視するか」との問いかけに、生徒からはいろいろな回答が出てきましたが、全国的には「健康」や「家族」が上位に入ってくるそうです。意外なことは「お金」と幸せは必ずしもプラスの相関関係ではないということです。

そして次に「幸せをさまたげるものはなんだろうか」という問いがありました。これについても色々な回答が生徒からでていました。学校長からは「いじめ」とは相手が苦痛を感じているものすべてである。いじめは法律でもはっきりと禁止されている。いじめた方は忘れてしまうが、いじめられた方はいつまでも覚えているとお話がありました。全校生徒は学校長の方を向き真剣に話しを聞いていました。

最後に「ことばのかたち」という絵本を読み、言葉の大切さについて伝え、校長講話が終わりました。



ホンモノにふれる

10月11日(金)、バイオリニストの和光憂人さんとピアニストの長尾崇人さんが4校時に来校して、演奏会を開いてくださいました。短い時間でしたが、きれいな音色に、心が奪われました。最後に、「質問コーナー」がありましたが、2、3年生から活発に質問が出てとても良かったです。良い時間を過ごすことができました。



東信新人大会が始まりました

10月12日(土)から新人戦が始まりました。

【卓球】12日(土) 佐久予選会 川上中、南牧中と合同
男子団体 ●小海0-3 小諸東 ●小海1-3 御代田 ●小海0-3 望月
●小海0-3 軽井沢 ●小海0-3 中込 予選敗退

女子団体 ○小海3-0 立科 ○小海3-2 御代田 予選リーグ1位

1位リーグ ●小海0-3 佐久穂 ●小海0-3 浅間
佐久予選3位で本戦へ

男子個人 2回戦敗退3名 1回戦敗退3名

女子個人 4回戦敗退1名 ベスト16 決勝トーナメント出場権獲得
2回戦敗退1名

【野球】13日(日) 佐久総合運動公園野球場 白田中と合同
○小海12-0 芦原 5回コールド勝ち 3回戦へ

【サッカー】 13日（日）佐久総合運動公園陸上競技場
南牧中、佐久穂中、大日向中と合同
予選ブロック 1 試合目 ○小海3-1上田一
2 試合目 ●小海0-1上田三
ブロック2位で決勝トーナメントへ

3年生は保育所訪問を行いました

10月15日（火）家庭科の授業で、保育所を訪問しました。いもを掘ったり、帽子取りゲームをしたりと、とても盛り上がりました。どうすれば、園児達と仲良くなれるか、園児の立場になって考え行動する姿に3年生の成長を感じました。前回、夏前に訪問したときとは違ってしゃがんで園児と目線を合わせて話しをしていたり、園児の気持ちになって話しかけていたり、わずか3ヶ月でとても対応が上手になっていました。自分から積極的に園児と関わろうとする姿もとても良い姿でした。とてもよい交流になりました。



前回よりも積極的に行けたし、「お片付けしましょう〜」って言われても片付けなかった子に「お片付けしよ〜」と優しい言葉でしっかり言えて良かったです。目標は達成しました。言葉遣いも園児に合わせて園児に伝わる言葉遣いできてよかったです。

人権講演会がありました

10月17日（木）の5・6校時に人権講演会が行われました。講師は猪又竜さんと井出今日我さんのお二人で猪又さんは生まれつき心臓に疾患をもっており、井出さんは5歳の頃から筋ジストロフィーにかかり今も車いす生活を送っています。

（右の写真の左が猪又さん、右が井出さん）

多様性と助け合いの社会を知ろう
〜きみはきみのままでいいんだよ〜

というテーマでのご講演でした。自分らしく生きていくとはどういうことかと講演がスタートしました。プロのイラストレーターに描いてもらったというポスターを見ながら、世の中には色々な人がいるということを丁寧にお話ししてくださいました。ヘルプマークの説明も交えながら、世の中には色々な人がいることがあたりまえ、そのことを知らない自分自分らしく生きていくことができないとおっしゃっていました。また、「あの人は障がい者だから助けてあげよう」という考え方ではなく、困っている人がいたら助けてあげようと考えてほしい。障がいとせず「ちょっと特徴があるだけ」と考える。そういった特徴のある人は、困ったら「助けて」とか「手伝って」というはずで、それがとても大切。みんなもそれぞれ特徴がある。なので困った時には助けを求めていいし、助けを求められる人になってほしいと思います。色々な人に出会っていくと自分の特徴も分かってくる。そして、将来は助けることと助けてもらうことができる人になってほしいと思います。と最後に締めくくっていただき講演会が終わりました。とても胸に落ちる、素敵な講演会でした。

